

## The End of my Special Journey

石川夏帆/Kaho Ishikawa

みなさんこんにちは！昨年2021年8月から2022年1月までOhio Saitama Global Speaker Program (OSGSプログラム) 1期生として参加させていただいておりました、石川夏帆と申します。これまで中間レポートを2つ書かせていただきましたが今回が最終レポートとなります。

約5ヶ月間は振り返ると、オンラインでありながらも内容がとても濃く大変充実しておりました。そして今こうして最終レポートを作成していると一瞬で過ぎてしまったように思います。今回の最終レポートでは私がこの5ヶ月間で学んだことを「授業編」「埼玉親善大使編」の大きく2つに分けてお伝えしていきます。毎回拙い文章になってしまいますが今回も最後まで読んでいただけますと幸いです。



### ●OSGSプログラムについて



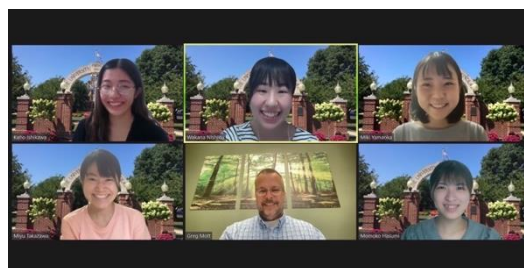
最終レポートのはじめとして、私が個人的に感じた通常のオンライン留学とOSGSプログラムの違いに焦点を当てたいと思います。この2年間でオンライン留学という新しい留学の形が流通し始めました。オンライン留学の1番の利点は**フレキシブルさ**です。時差を除けばパソコンなどの端末一つで世界中とつながることができます。費用も現地渡航の留学に比べると滞在費などを含め格段に抑えることができることも良さの一つかもしれません。オンライン留学の経験もありますが私にとっては留学そのものが今までよりも身近に感じられるようになりました。このOSGSプログラムもオンライン留学の一種ですが、大きな違いは日本での日常生活にこのプログラムが加わるため

**勉強・仕事と両立**していく形になります。しかし授業自体は2週間に一回と毎日あるわけではないので日常生活とバランスが取りやすく両立が可能です。今回は他のメンバーも私と同じ大学生だったため、それぞれの日本での日常もシェアしたり、刺激し合ったり多方面から楽しむことができました。また通常のオンライン留学だと期間内で完結してしまうものが多いと思いますが、OSGSプログラムは期間が終了した後も繋がっていく予定でもあるため大変魅力的です。詳しい内容については別のページに記載してありますので確認してみてください：)

### ●授業について

日々の授業やゲストスピーカーセッションを通して学んだことは「**英語は学ぶよりも慣れる**」ということです。私が頻繁にぶつかる壁は「話したいことはあるのに英語が出てこない。知っている英語もいざ話すとなると使えない。」というものでした。みなさんも同じことを感じたことがあるかもしれません。その壁にぶつかるたびに悔しい思いをしてきましたが、2週間に一回と習慣的に日本語を使えない環境で英語を喋る機会ができたこと、授業がない期間は本やリサーチで使用したリソースの音読などを通して自分から英語に慣れていくという体制を確立することができました。

ゲストスピーカーセッションも今回のプログラムの楽しみでした。フィンドレー市長さんをはじめ、最前線で活躍されている医療関係などの方々とお話





をする機会が 2 回ほど設けられました。今期のテーマが「**日米の新型コロナウイルスへの対応の違い**」であったため、「日本ではこうだけどアメリカではどうなのだろうか」という純粋な質問から、焦点を絞った少し奥深い質問までメンバーと考えて質問し、ゲストの方に答えられました。

これまで英語で質問をされる経験はありましたが、質問をする側にはなかった経験があまりありませんでしたので最初は戸惑いもありましたが、自分の英語に自信を持つことができた瞬間でもありました。

5 ヶ月間一緒に活動してきたメンバーからも授業を通して数え切れないほどのモチベーションをもらい感謝しかありません。自分たちの母国語でない言葉を用いながら協力していくことの難しさと達成感もプログラムを通して実感することができ、この関係はこれから先もずっと続けていきたいです。また英語に関しても基本的な 4 技能からアカデミックな内容まで教えていただいたため、これからも大好きな英語の勉強に力を入れて、近い将来 5 ヶ月間担当して下さっていたグレッグ先生に直接お会いする機会があることを信じ、成長を感じていただけるよう努力を続けていきたいです。

## ●埼玉県親善大使として

以前のレポートにも記載させていただきましたが、このプログラムに参加している期間中は、埼玉親善大使に任命していただき地元・埼玉県のことを世界に広めるという活動にも取り組みました。埼玉県を紹介するプレゼンはプログラム内に含まれていましたが、その他にも何かできることはないかと授業外でメンバーと話す機会を作った際に話題となり話し合いを重ねました。

そこで私たち令和 3 年度前期メンバーは、大きく分けて以下の **3** つに挑戦いたしました。

### － 1 インスタグラムのアカウント作成・運営－

OSGS プログラムのことももっと知ってもらいたい、同時に埼玉のことも SNS のような便利な機能を利用すれば広められるかもしれないという考えから、OSGS プログラムメンバーで運営する **OSGS プログラム埼玉親善大使アカウント** を作成しました。

アカウントでは私たちが埼玉親善大使として活動したことを始め「埼玉県」に関することをシェアしております。こちらのアカウントは令和 3 年度後期のメンバーに引き継ぐ予定ですのでぜひフォローをお願いいたします！

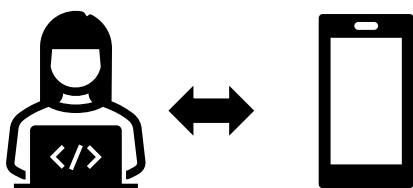
(右>アカウントにつながる QR コード)



### － 2 特別セッションでの埼玉県についてのプレゼンテーション－

こちらは最初からプログラムに組み込まれていた内容でした。一緒に活動をして下さったフインドレー大学の学生さんが LINE を通してキャンパスツアーを開催して下さったことがきっかけで、ただパワーポイントなどで紹介するのではなく私たちもリアルタイムで埼玉を届けたい、またメンバー 5 人がそれぞれ違う地域の出身であったことから**観光視点ではなくローカル視点**

で発信してみようということで話がまとまりました。当日はそれぞれがスマートフォンから zoom を繋ぎ、それぞれの地元を散歩したり事前録画した動画を共有という形で埼玉について紹介しました。自分の地元を英語で紹介することがなかったため、私自身にとっても新鮮で終始



ワクワクしてしまいました。その場に実際にいなくてもその瞬間を遠く離れた国の人に共有でき、新たな情報発信の方法を見つけることができました。その場でいただいた質問に答えられたので、オハイオ州の方々にも楽しんでいただくことができました。

### － 3 埼玉の農業・伝統・食べ物－

こちらに関しましても授業外で話す機会を作った際にプライベートで埼玉を巡ろうという案から親善大使の活動につながるかもしれないという案になり、各所からサポートをしていただきながらメンバーで手分けをして計5箇所を訪れることができました。私はその中の2箇所、**人間市にある「埼玉県茶業研究所」と小川町にある「埼玉伝統工芸会館」**を訪問させていただきました。狭山茶の奥深さ、和紙をはじめとした伝統工芸の貴重さを実際に自分の五感を使いながら触れることができたことが大切な思い出です。

またメンバー二手に分かれて埼玉県にちなんだ食べ物を実際に試食する機会なども作っていただき、それぞれのチームオリジナルの動画などを作成しました。訪問させていただいたことや食べ物に関する動画などは、上記1で紹介した OSGS プログラムのインスタグラムアカウントでシェアしていますのでチェックしてみてください！



これら3つの親善大使としての活動を通して、率直に地元・埼玉のことをもっと知りたい！と思いました。生まれてからずっと住み続けている埼玉県の魅力にまだ全然気づけていなかったこと、メンバー全員が口を揃えて「もっと埼玉を深掘りしよう！」と言うくらい非常に興味深い埼玉親善大使としての活動に取り組むことができました。

### ●これから留学などを考えている方へ

この2年間で世界の状況は良くも悪くも大きく変化いたしました。私自身この2年間、自分の思うように物事が進まなくなってしまうことも多々経験し、ネガティブに考えてしまっていた時期もありました。しかし、今一度自分に問いかけてみると私個人では良い変化の方が多かったと胸を張って言えます。その例がこのような留学です。

日本にいながらオンラインで留学をするというイメージはなかなか

かつにくいと思います。私も最初は現地渡航をせずに日本にいながら勉強する＝留学につながるのかと半信半疑のところがありました。その疑いに反して、実際は想像していたよりも遥かに得られるものが多く、逆に日本にいるからこそできることを全力で取り組もうとする留学に対する思いが格段に違うことに気づきました。そして新たに将来への道を切り開くためのヒントもつけることができました。留学に限らず今まで踏み入れたことのない世界に少しでも興味を持ったなら、ぜひ勇気を振り絞って踏み出してみてください。今回で私は OSGS プログラムを一度終了しますが、このプログラムは一度終了した後でも別の機会で繋がっていく予定です。

私の経験が少しでもみなさんの背中を押せることができれば嬉しいです。私も5ヶ月間で培ったものを最大限活かし前に進んでいこうと思います。



この約5ヶ月間のOSGSプログラムを通して、日常に溢れる可能性の多さを実感することができました。このプログラムに挑戦していなかったら築くことのできなかつた日本だけでなく、埼玉県の姉妹州であるオハイオ州との関係も一生の宝物です。オハイオ州の方々とはスクリーン越しでの交流で終わってしまいました。寂しい気持ちもありますが、近い将来お世話になったみなさんに直接お会いし、感謝を伝えることがプログラムを修了した現在の私の新しい目標です。

1月9日に私たちの集大成として成果発表会の機会を設けていただきました。OSGSプログラムに興味がある方などをお招きして、5ヶ月間で学んだ知識や経験を活かし英語でプレゼンを行いました。その後の修了式をもって正式にプログラムは終了しましたが、私の中でOSGSプログラムは今後も続いていきます。目標を達成できるのがどのくらい先になるかは分かりませんが、日々努力を積み重ねその時を楽しみに待ちたいと思います。

最後になりましたが、約5ヶ月間多方面からご支援くださった埼玉県国際課の皆様をはじめ多くの方々に厚く御礼申し上げます。OSGSプログラムを通して得た貴重な経験を今後将来につなげ、応援してくださった皆様に何かの形で恩返しできるよう、常にDo my bestを胸に精進して参ります。改めて約5ヶ月間、本当にありがとうございました。



2022年1月9日に行われた修了式の写真